

歯の延命を目指す 接着を用いた破折歯への対応を示す!

HYORONブックレット

歯の破折

——その見つけ方と接着による対応のポイント——

編著 | 長谷川晃嗣 (東京都文京区・長谷川歯科診療所)

著 | 小田 豊 (東京歯科大学名誉教授)

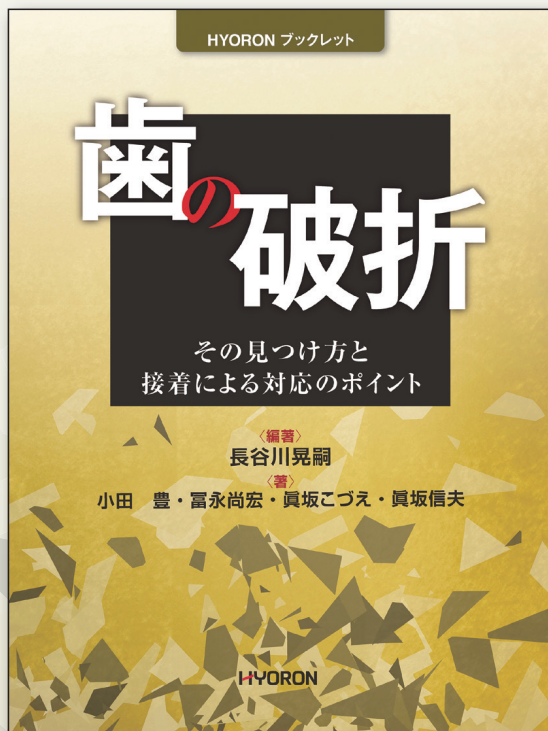
富永尚宏 (長崎県長崎市・富永歯科クリニック)

眞坂こづえ・眞坂信夫 (東京都世田谷区・眞坂歯科医院)

■う蝕、歯周病に次いで歯を失う原因となる破折には、さまざまな病態と特徴が見られます。デンタルエックス線写真で捉えにくく、診断が難しいマイクロクラックや、ストレス社会を反映したと考えられる過大な咬合力による生活歯破折が増えている、とも言われています。

■本書では、破折の原因や破折を見つける目安となるさまざまな病態を示すとともに、破折歯の接着修復に関する研究、マイクロクラックへの対応、そして接着を用いた破折歯保存治療のポイントを解説しています。

■破折歯を適切に診断・治療し、可能な限り保存するために役立つ1冊です。



A4変判・80頁・オールカラー・定価(本体4,800円+税)

HYORONブックレット

月刊『日本歯科評論』誌上でご好評いただいた特集などを、雑誌掲載後の情報も適宜追加し、ワンテーマの書籍として読みやすく再編するシリーズです。

歯の破折

——その見つけ方と接着による対応のポイント——

内容紹介

I	破折の原因長谷川晃嗣
	<ul style="list-style-type: none"> I 咬合がもたらす歯根破折 II ブラキシズム(特に睡眠時ブラキシズム)が誘因となる歯根破折 III 医原性誘因 IV 背景にある解剖学的な要因, エイジング
II	さまざまな歯の破折の病態長谷川晃嗣
	<ul style="list-style-type: none"> I 歯の破折を見つけるために II 診査時の拡大視野と根管洗浄の有効性 III 破折を招きうる咬合力を表す徴候 IV 破折を防ぐために
III	破折歯の接着修復に関するデータから見えること —接着修復した破折歯の耐久性評価—小田 豊
	<ul style="list-style-type: none"> I 歯根が割れる力はどのくらいか? II 破折した歯根象牙質の接着強さはどのくらいか? III 接着修復した歯根の強さはどのくらいか? IV 接着修復された歯根で支台築造した場合の耐久性はどれくらいか? <p>まとめ</p>
IV	マイクロクラックによる根尖病変とその対応富永尚宏
	<ul style="list-style-type: none"> I マイクロクラックの問題点 II マイクロクラックによる感染が原因と考えられる病変 III クラックのある歯を保存するか抜歯するかについての判断基準について
V	破折歯を保存するための取り組み① 接着を用いた生活歯の破折への対応長谷川晃嗣
	<ul style="list-style-type: none"> I 生活歯の破折症例 II 本症例の考察
VI	破折歯を保存するための取り組み② 接着を用いた失活歯の破折への対応眞坂こづえ・眞坂信夫
	<ul style="list-style-type: none"> I 適応症の選択 II やむを得ず抜歯となった症例 III 歯根破折歯接着治療の要点 IV 長期保存のための留意点 <p>まとめ</p>